

令和5年度 家の光大会・女性の日 4年ぶりに開催!!



中央支部部員 西諸弁ラジオ体操第一



西支部クレマチス
ケ・アラ・オ・カ・ヒナノ・ホオヘノ (大切なひなのの香り)



東支部すみれ会 そんなもんです。人生は



須木支部部員 炭坑節



中央フラ マカニ・オルオル (さわやかな風)



高原支部後川内フラ 涙そうそう



野尻おもと会 牛深ハイヤ節



北・東方支部花みずき会 ソーラン渡り鳥



高原支部広原フラ 世界にひとつだけの花

上田 茂美さん所有の「こすもす」号 優等賞首席！

【雌子牛の部】



「こすもす」号

西諸県郡市畜産販売農業協同組合連合会主催の子牛郡品評会が7月14日、小林地域家畜市場で行われ、出品牛49頭の中から、上田茂美さん所有の「こすもす」号が、優等賞首席に輝きました。

【雌子牛の部】優等賞首席

「こすもす」号

父・・・二刀流

母の父・・・美徳国

母の祖父・・・福之國

令和4年10月1日生

出品者

上田 茂美さん（小林市野尻町）

講評

雌子牛

今回の品評会は出品頭数が小林16頭、高原10頭、野尻13頭、えびの10頭、計49頭の出品でした。

49頭の平均日齢は284日で平均体高は117.7cm（発育判定は+1.90σ）で発育も良好であり、+3.0σ以上（月齢で発育曲線オーバー）の過大牛は1頭でした。

種雄牛別では宗守富士14頭、耕富士9頭、富久竜8頭、二刀流7頭、秀百合久3頭、照日向・勝美利各2頭、福晴茂・満天白清・美津秋・白隆鵬各1頭でした。入賞等級頭数は、優等賞8頭、専等賞22頭、式等賞19頭でした。優等賞に選定した種雄牛は宗守富士・富久竜各3頭、二刀流・耕富士各1頭でした。

今回の優等賞首席には 野尻町 上田茂美氏出品の「こすもす」号（二刀流×美徳国×福之國）「2.24σ」が選定されました。

この子牛は、発育、体積、体幅、体伸、腹容、腿、骨味等に優れ輪郭鮮明な子牛でした。栄養度判定も「6」と管理が行き届いていました。

全体的には、発育、体伸、体上線、腹容、骨味等の良い子牛が見受けられました。

惜しまれる点は、体の締り、肩端、肘後、尻の形、長脚、毛色等でやや劣っているものが散見されました。栄養度「7」以上で判定した子牛は6頭でした。

子牛導入・保留につきましては、各関係団体等の助成金もありますので、活用いただき母牛更新・増頭の計画をお願いします。



【西諸畜連 岡原広明】

BB肥料・消石灰特別フェア

7月7日・8日の2日間、当JA本所・高原・野尻・須木支所の4会場で、飼料作元肥・追肥及び畜舎消毒剤の特別フェアを行いました。

同フェアは、肥料価格高騰を受け、農家経営支援と農業生産性向上に向けた仕組みづくりとして、良質な生産資材を大量仕入れし低コストでの供給を目的に、特別価格で販売するものです。258名の皆様にBBゴーゴーマル10,524袋、BB新追肥1号1,731袋、消石灰563袋、合計12,818袋を自己取りいただきました。

次回は1月中旬に同フェアを予定しておりますので、ご利用下さいますよう宜しくお願い致します。



職員による積み込みの様子

第47回 JAこばやし農業経営者組織協議会通常総代会

6月1日、JAこばやし農業経営者組織協議会はガーデンベルズ小林にて第47回通常総代会を行いました。

新田泰佑さんを議長に、提出された議案は原案通り承認されました。

また、本年は、役員改選が行われ下記の方々に決定しました。

新役員

(敬称略)

会長	堀之内	文彦
副会長	岩佐	政弘
副会長	金松	孝幸
監事	松田	繁利
監事	大出水	聡史



総代会の様子

農業経営者組織協議会



堀之内文彦会長あいさつ

第49回宮崎県農業経営者組織協議会通常総会

入木真一さん・清美さんご夫婦 農業経営管理コンクール『優秀賞』を受賞!!

6月21日、JA・AZMにて第49回宮崎県農業経営者組織協議会通常総会が開催されました。

総会にて、令和4年度農業経営管理コンクール表彰式が行われ高原支部の入木真一さん・清美さんご夫婦が、『優秀賞』を受賞されました。主幹作目は、繁殖牛76頭です。

農業経営管理コンクールとは、農業経営改善のための取り組みや家族間の協議、農作業や栽培管理、経営管理の質的内容などを重視したコンクールです。



農業経営管理コンクール表彰式の様子



受賞された入木さんご夫婦

JAこばやし青年部野尻支部・獣医師会合同研修会

JA青年部野尻支部(川野直人支部長)は、6月29日、JAこばやし本所で青年部野尻支部・獣医師会合同研修会を開催しました。

当日は、青年部盟友をはじめ、獣医師、関係機関の担当者などが出席。開会で川野支部長は「このような研修会は初の試みであり、少しでも青年部盟友の勉強になればいいと思います。今後第2回、第3回と続いていけばいいと思います。また、コロナウイルス感染症も令和5年5月より第5類感染症に移行したため、今後青年部活動が活発になればいいと思います。」とあいさつされました。

研修会は2部構成であり、第1部が「子牛の臍部疾患について」と題して宮崎大学農学部獣医学科 佐藤礼一郎教授による講演、第2部が「母牛の餌について」と題しやまさき動物病院 山崎野枝先生による講演が行われました。



獣医師会合同研修会の様子

きりしま農業推進機構 アグリサポートセンター第4期生遠藤さんご夫婦修了式

小林市と高原町の地域農業の担い手育成を目的に、きりしま農業推進機構の新規就農者研修事業としてJAこばやしが管理運営する「アグリトレーニングセンター」第4期研修生・遠藤浩之さん、優華さんご夫婦の修了式が6月21日JAや行政など各関係機関から22名が出席し当JA本所で行われました。

研修を終えた遠藤優華さんは、「私たち夫婦は、この研修を通し、岡本センター長のもと農業をするうえで最も重要な考え方など基礎の基礎からしっかり学ばせていただきました。研修時間も先輩農家の方々と同じ環境で働きたいという希望を聞いていただき、対応していただいた結果、収穫量も20tを超え、体力面・技術面・精神面でも自信を持つことができました。この経験を活かし、自分たちなりに農家として少しずつ成長していきたいと思います。」と決意表明をしました。

1年間の研修期間を経て、新規就農者として新たな道を歩みだします。



修了証を受け取る遠藤さんご夫婦



参加者全員で集合写真

きりしま農業推進機構 第5期研修生中間さんご夫婦アグリトレーニングセンターに入講

新規就農希望者が施設園芸のきゅうり栽培を学ぶ「アグリトレーニングセンター」の第5期研修生の入講式が6月28日、JAや行政など関係機関から19名出席のもとJAこばやし本所で行われました。

第5期研修生として入講したのは中間寛人さん（40）と由香里さん（44）のご夫婦。

会社員として、子牛生産の仕事に携わり、今後の人生を考えたとき農業の厳しさを十分理解している今だからこそ自分自身が全責任を負う農業を始めたいという思いから入講されました。

トレーニングセンターでは、きゅうり栽培の基礎となる土づくりから病害虫防除、栽培管理などの習得、農作業を安全に行っていくうえでの農業機械の操作及び取り扱いを学びます。また、確実な経営開始ができるよう就農計画等の作成もします。研修期間中は、JAや行政など各関係機関が連携して、技術指導や営農指導を行っていきます。

中間さんは、「皆様のご指導とご協力を頂きながら、10年後20年後には、「野尻には、中間がいる」と言われるような農家になりたいと思います。」と決意を語りました。



中間さんご夫婦



参加者全員で集合写真

高原町花卉部会定期総会

5月25日、高原町花卉部会（中別府裕二部会長）は、JAこばやし高原支所にて令和4年度定期総会を行いました。開会で中別府部会長は、「少ない人数ではありますが、部会員一丸となって、さらなる品質・技術の向上を目指して頑張りましょう。」とあいさつされました。

竹之内藤男さんを議長に、提出された議案は原案通り承認されました。また、本年は役員改選が行われ右記の方々に決定しました。

新役員

(敬称略)

部会長	中別府 裕二
副部会長兼監事	田口 勇二
監事	竹之内 藤男



竹之内藤男議長



中別府裕二部会長あいさつ

こばやし花卉部会 定期総会

6月29日、こばやし花卉部会（高津佐雄三会長）は、西諸県農業改良普及センターにて定期総会を行いました。

内山浩希さんを議長に、提出された議案は原案通り承認されました。

また、総会内でJAこばやし花卉部会主催による品評会の表彰も行われました。受賞者は、右記の通りです。

JAこばやし花卉部会主催

(敬称略)

【令和3年度 第24回年末菊圃場品評会】

最優秀賞 佐藤 和 憲

【令和4年度 第25回年末菊圃場品評会】

最優秀賞 佐藤 和 憲

優 秀 賞 高津佐 雄 三



部会長あいさつの様子



品評会表彰の様子

令和5年産 夏秋きゅうり販売対策会議

7月6日、宮崎経済連福岡営業所にて県外各市場担当者や経済連、きゅうり生産部会員、JA関係者が出席し令和5年産夏秋きゅうり販売対策会議を行いました。

きゅうり生産部会の炭床稔部会長は、「今年も防除等しっかりと取り組み質の良いきゅうりを作ってまいりますので販売をよろしくお願ひします。」とあいさつされました。

会議では、令和5年産夏秋きゅうり出荷計画、出荷・販売取り組みについてなどを協議しました。

また、この会議にて京都・広島など県外4市場と令和5年産夏秋きゅうりの出荷契約を結びました。



夏秋きゅうり販売対策会議の様子

JAこばやしごぼう部会生産者大会

6月27日、JAこばやしごぼう部会（大山高司部会長）は、道の駅ゆ〜ぱるのじりにて、令和5年度JAこばやしごぼう部会生産者大会を開催しました。

小林・高原・野尻の3支部が、生産技術の改善及び有利販売、部会員の所得向上を目的とし、支部統合となるため行われました。

大会では、西諸県農業改良普及センター黒木修一課長から病害虫総合防除や栽培管理についての研修が行われました。

また、大会後には懇親会にて親睦を深めました。



生産者大会の様子

各地で食育活動「食」の大切さを子供達へ

JAこばやし青年部中央支部

細野小学校5年生田植え体験



6月20日、JAこばやし青年部中央支部(瀬戸山貴行支部長)は、細野小学校5年生を対象に食育活動の一環として田植え体験を行いました。

この活動は、日本の主食である米を育てることを通じて食への感謝の気持ちや、作物を育ててくださっている方への感謝の気持ちを育むことを目的として毎年行っています。

細野まちづくり協議会と瀬戸山支部長をはじめ盟友の方々も田植えの指導を行いました。

児童達は、全身泥だらけになりながらも一生懸命に田植えに取り組みました。

JAこばやし東麓地区営農組合

野尻小学校3年生・野尻保育園・野尻幼稚園 田植え体験

6月20日、東麓地区営農組合(齋藤國章組合長)は、食育活動の一環として野尻小学校3年生を中心に、野尻保育園園児、野尻幼稚園園児ともち米の田植え体験を行いました。

児童たちは、田んぼを歩くのも大変そうでしたが一生懸命に苗を植えていました。

今回、田植えをしたもち米は、収穫後に野尻小学校での餅つき大会で使用することになるので、児童たちは、収穫を楽しみにしているようでした。



JAこばやし永久津地域営農組合

永久津小学校5年生、中学校1・2・3年生 田植え体験



6月23日、永久津地域営農組合(大山則夫組合長)は、食育活動の一環として永久津小学校5年生、中学校全学年を対象に田植え体験を行いました。

営農組合の方々から説明を受け田植えを開始すると、中学生は小学生の頃から田植え体験を行っているからか、手慣れた様子で田植えをしていました。また、初めての小学生に中学生が植え方を教えてあげるなど助け合いながら植え付けをしていました。

JAこばやしバレー部 第45回JAグループ宮崎親善バレーボール大会

6月17日、綾町・てるはドームにて『第45回JAグループ宮崎親善バレーボール大会』が行われました。当JAからも男女バレー部それぞれ1チームずつの参加となりました。

新型コロナ禍により3年ぶりの開催となった今大会では、男子8チーム、女子5チームが出場、激闘を制した当JA男女両チームが優勝を勝ち取りました。



優勝した女子チーム



優勝した男子チーム

令和5年度 『家の光大会』 『女性の日』

4年ぶりに開催！！

7月15日、JAこばやし女性部（松田まり子本部長）と当JAは、小林市文化会館にて、令和5年度「家の光大会」・「女性の日」を開催しました。

コロナ禍の影響により、4年ぶりの開催となるこの日を楽しみにしていた女性部員や家族、JAの役職員等約230人が参加されました。

松田本部長は、「4年ぶりの開催で本当にうれしく思います。なかなか皆さんとお会いすることができず寂しかったですが、これからはいろいろと活動をしていきたいです。」とあいさつされました。

前半の家の光大会では、各支部の代表者7名が3分間スピーチで体験発表を行いました。それぞれ普段の生活の中で体験し感じたことを発表され、会場には笑い声や感心して頷きながら話を聞かれる方などがいらっしゃいました。

また、株式会社BioBell（バイオベル）の岩満國吉氏による『まわり道は、新しい道の発見』と題した講演も行われました。講演の中で岩満氏の制作したオルゴールの演奏も行われ参加者は、美しい音色に聞き入っていました。

後半の女性の日では、各支部の活動発表会が行われ、踊りやダンスなど日頃の成果を披露されました。

当日は、家の光記事活用作品等の展示・表彰も行われ、部員の結束と女性らしい華やかなパワーを感じさせる催しとなりました。



会場の様子



岩満國吉氏の講演



作品展示の様子1



作品展示の様子2



体験発表

女性部 さのぼり旅行

7月2日から3日にかけて、当JA女性部（松田まり子本部長）は、「さのぼり旅行」を行いました。

松田本部長をはじめ女性部員30名が参加、2日間で佐賀県内の名所、名水百選の清流「清水の滝」や日本三大稲荷「祐徳稲荷神社」などを観光しました。

参加された部員の方々は、買い物や観光など久しぶりの遠出の旅を楽しまれていました。



清水の滝



祐徳稲荷神社

「GAPに取り組むこと」とは

～GAPの実践に向けて～

○繰り返すことの重要性

GAPではいろいろなルール作りや取組みが必要ですが、これらは一度行えば完成というわけではなく日頃から改善を続け、繰り返すことによって生産性の向上や競争力の強化につながります。

改善

内容を見直し、次の計画に反映する

- ・ どうして実践できなかったのか？
- ・ 不十分だった点は何？
- ・ 見直し項目はどれ？

計画

問題を洗い出し実行計画をたてる

- ・ 廃棄物の廃棄ルールがない
- ・ 薬品があちこちに保存されている
- ・ 喫煙しながら箱詰めしている

点検

計画どおりに実行されたかを点検する

- ・ 説明書どおりに器具を使用しているか？
- ・ 洗浄した農薬散布機を使用したか？

実行

計画に基づき実行する

- ・ 記録する
- ・ 農薬の保管庫にカギを付ける
- ・ 農薬散布時に保護具を着用する

○ルール作りの重要性

GAPでは、自らの農場で課題を見つけ、それをもとに点検項目や取組内容、各種規定を決めていきます。法令を遵守するのはもちろんですが、自分たちの農場に最も適したルールを作成します。

ルール作りの5つの柱

- ① 食品の安全を保つためのルール
- ② 環境の安全を守るためのルール
- ③ 作業従事者の安全確保のためのルール
- ④ 作業従事者の基本的人権を守るためのルール
- ⑤ 農場経営にとって必要なルール

ルール作りで大切なことは、「なぜこうするか？」です。

たとえば、「農薬の空容器を分別して処理する」というルールに対して、

- ・ なぜ分別するのか？・ 分別するとどんなリスクが減るのか？
- ・ 分別する入れ物はどうするのか？・ フタは必要か？・ どこに置くのか？

と、さまざまな疑問が湧いてきます。

こうしたことを、だれが見てもわかるようにルールとして具体的に作成します。

普段、何気なく行っている行為に少しでも「なぜ？」と思ったら、そこに改善の余地があります。

GAPに取り組めば、この「なぜ？」という気づきが増え、考える力が向上します。

継続して繰り返すことで、日常に隠れている小さなリスクに気づき、適切に評価・対応することが可能となります。



7月期子牛セリ市風景

(単位：頭、円)

増減比較表	性別	今回(令和5年7月)		前回(令和5年6月)		前年(令和4年7月)		
		頭数	平均	頭数	平均	頭数	平均	増減
	雌	445	446,857	437	530,286	-83,429	449	523,590
去	572	528,517	576	600,568	-72,051	538	652,412	-123,895
計	1,017	492,786	1,013	570,248	-77,462	987	593,809	-101,023

令和5年7月期子牛セリ市支所別結果表 平均価格49万2千円

(単位：頭、円)

支所	性別	頭数	総平均	前回6月平均価格	前年7月平均価格
小林	雌	238	436,839	528,384	517,186
	去	322	512,880	599,452	651,823
	計	560	480,563	569,583	589,528
高原	雌	127	452,377	544,139	549,506
	去	161	552,651	609,860	655,537
	計	288	508,433	579,780	609,874
野尻	雌	80	467,899	516,245	505,881
	去	89	541,435	592,278	649,035
	計	169	506,625	559,747	581,906



水 稲

米の品質食味向上のために

●穂肥時期

穂肥の施用時期は出穂前15～20日（幼穂が1cmの時期）が適期です。早過ぎると下位節間が伸び過ぎて倒伏しやすくなり、遅過ぎると玄米中のタンパク質の濃度が高くなり食味の低下につながります。施用時期には、十分注意してください。

◇穂肥時期（平年）

ヒノヒカリ … 8/6 ~ 8/10

●登熟向上に向けて

①穂ばらみ期～出穂・開花期の水の確保

8月中旬～9月上旬は最も水の必要な時期で水を切らすと不稔を招きます。水田の水は切らさないようやや深水で管理してください。

②根の健全化と登熟後半の水管理

出穂・開花期を過ぎ、登熟期間に入ると根腐れによる充実不足や登熟低下を防ぐために間断かん水を行ってください。また、収穫5日～7日前まで落水を行わない。

③夜間のかけ流しや夜間かん水の実施

平均気温27℃以上で白未熟粒や充実不足粒の多発が見られます。水が十分にある場合は夜間のかけ流し、水に制限がある場合は夜間かん水を行ってください。

●台風対策

①事前対策

・強風による稲の痛みや高温乾燥風による生育障害軽減の為に深水管理を行ってください。但し、棚田や畦の崩壊の恐れがある水田では行わない。

・浸水や冠水しやすい水田では、溝切りや排水溝の整備を行きましょう。

②事後対策

・台風通過後も吹き返しの高温乾燥風がある場合は生育障害が発生する恐れがあるので、風が止むまで深水状態を保ちましょう。

・水田に飛散したゴミは、作業や機械に支障を及ぼすので早めに除去してください。

◆水稲苗箱返却について◆

水稲苗のご利用ありがとうございました。水稲苗の空箱については、各育苗所・支所まで必ず返却頂きますようお願い致します。

※返却の際は、**水洗した上で**苗箱10枚ずつひもで結び返却ください。

必ずご返却ください。



＜水稲担当：織田 泰生＞

百笑村(小林店)よりのお知らせ

太陽の光をいっぱい浴びた
絶品のフルーツ

**梨、ぶどうの直売を
行っています**

【期間】8月1日(火)～31日(木)

協賛：JAこばやし梨ぶどう生産部会
(お問い合わせ先：百笑村小林店 ☎23-5632)

令和6年度 職員募集 (大卒・短大卒・高卒)

- ◆職 種 総合職（事務職・営業職・技術職）
 - ◆採用予定人員 大卒・短大卒・・・8名程度
高卒・・・15名程度
 - ◆試 験 日 令和5年9月23日（土）
 - ◆試 験 地 JAこばやし本所
宮崎県小林市細野1321 ☎0984-23-1313
 - ◆受 付 期 間 令和5年9月 5日（火）～
令和5年9月12日（火）【必着】
 - ◆受 付 場 所 JAこばやし 企画管理部 職員課
 - ◆受 験 資 格
- ①大学卒業の人及び令和6年3月大学卒業見込みの人（満21歳～満35歳まで）
 - ②短期大学卒業の人及び令和6年3月短期大学卒業見込みの人（満19歳～満35歳まで）
 - ③高校卒業の人及び令和6年3月高校卒業見込みの人（満17歳～満35歳まで） ※省令3号のイ

* 技術職は営農技術指導員（畜産・園芸農産）とします。
* 詳しい内容のお問い合わせは、JAこばやし職員課まで
☎(0984) 23-1313

JAこばやし求人サイトオープン!

地域・農業・食の未来のために!!
わたしたちと一緒に働いてみませんか?

JAこばやしは、地域・農業・食の未来のために必要なあらゆる事業を展開しています。

職員は、正職員・特定業務職員・嘱託職員・準職員・パートタイマーのほか、短期季節雇用（農繁期等の労務職）で構成され、約500名の職員が在籍しております。
※地域貢献や農業に興味のある方、ぜひ一緒に働いてみませんか?

※採用・求人情報等については、当サイトのほか、ハローワーク求人・当JAホームページ・宮崎県就職ナビサイト等に掲載しています。

JAこばやし求人サイトはコチラ

<https://ownedmaker.com/jakobayashi/top/>

携帯・スマホの方は、下記のQRコードを読み込んでください。



「県域JA構想」に掛かる先進地役員視察研修の実施!!

当組合の役員（理事、監事 計 15 名）は、令和5年7月4日から5日にかけて、県域JAの先進地である佐賀県へ行き、視察・意見交換を行いました。

視察対象JAとしては、県域JAである「JAさが」、県域JA不参加の「JAからつ」の2JAです。

一日目は、県域未合併の「JAからつ」で研修会が行われました。研修会では、JAからつ松本副組合長より次のように説明がありました。

JAからつの概要

- ①平成 18 年 4 月 1 日合併
JA唐津市・JA松浦東部・JA佐賀松浦・JA上場の4JAが合併
- ②管内正組員数（令和5年3月末現在）
正組員数 4,993人
- ③事業実績（令和4年度）
販売品販売高 282.7億円



JAからつ本所 大会議室にて

県域JA参加を見合わせた経緯について

平成 18 年 4 月に合併した 4 JA は、当時、県域 JA 合併構想に明確な反対意思をもって県域参加を見送ったわけではなく、近隣 JA 合併を優先した結果、県域合併を見送りそれが現在まで続いている。

県域JA発足後のデメリット

県域 JA 発足後は、JA佐賀経済連も県域 JA へ包括承継された為、JAからつは、経済連の正会員から県域 JA の准組員となった。その為、経営的な参加は認められなくなった。

二日目は、平成 19 年 4 月に県域合併し誕生した「JAさが」で研修会が行われました。研修会では、JAさが楠組合長より次のように説明がありました。

「JAさが」の概要について

- ①平成 19 年 4 月合併
佐城・佐賀市・諸富町・富士町・さが東部・神埼郡・佐賀みどり・白石地区の 8 JA 合併
同年 10 月
JA佐賀経済連の権利義務の一切を包括承継
- ②管内正組員数（令和5年3月末現在）
正組員数 35,719人
- ③事業実績（令和4年度）
販売品販売高 1,095.3億円

合併後のメリット・デメリット

【メリット】

- ①合併後5年間は旧JA独立採算的運営方式を採用。合併前と変わらない旧JAでの運営が可能で、広域合併後も組員組織を主体とした事業運営や組員の意思反映を主体とした運営を実現。
- ②大きな方針が決まれば、全体がその方向に進む。
- ③従来のJA域を越えた施設整備が可能。
- ④畜産事業など大きな単位での一体運営が可能。
- ⑤システムコスト等の圧縮が可能。
- ⑥人事交流による活性化が可能。



佐賀県JA会館 3階 役員会議室にて

【デメリット】

- ①一部の声が届きにくい。
- ②意思決定手続きに時間がかかる場合がある。

それぞれの会場では、様々な意見交換が行われました。2日間の研修会を終え、参加した当JAの役員からは、

- ①合併しても組員との密着感と生き残りに全力で対応しなければならない。
- ②組織が大きくなったとしても組員へのサービスの低下とならない事、組員の帰属意識が希薄化しないような合併にならない。
- ③単独JAで存続したとしても連合会が包括承継した県域JAには経営的参加が認められなくなる可能性が大いにあると感じた。

等の意見がありました。

農家巡回

当JA管内の農家の現状把握と激励のため、組合長はじめ常勤役員3役による巡回訪問を行っています。

コロナ禍やロシア・ウクライナ情勢の影響により肥料・飼料・燃料などが高騰し厳しい農業環境が続いている中、農家のリアルな意見・要望を聞きJAとして何ができるのかを考えます。

今後も、常勤役員による巡回訪問を行い農家の意見・要望を聞き改善等につなげてまいります。



オートパルサマーフェアを開催 話題の人気車種が勢揃い！！

当JAのオートパルこばやしにて7月1日、2日の2日間「オートパルサマーフェア」を開催しました。

ディーラー6社の協賛により新車や特選中古車などの人気車種が多数展示されました。

当日は、あいにくの天気でしたが、来場された方々にスタッフが親切丁寧に各車種の特徴を説明しました。お足元の悪い中、多数のご来場、誠にありがとうございました。

なお、オートパルでは、常時特選車を展示しておりますので、いつでもお気軽にお問い合わせください。

オートパルこばやし TEL22-8400



展示車の説明を受ける来場者

正解者の中から3名の方に記念品をプレゼントいたします。

■応募要領

ハガキまたはFAX(23-7802)に、クイズの答え・住所・氏名・年齢・イラスト、ご意見、ご要望、身近な出来事等ありましたらご記入の上、下の宛先へお送りください。

■宛先

〒886-8520
小林市細野1321番地
JAこばやし管理課

■締切日

8月25日の消印まで有効

■「あったかおたより」への掲載

ご意見、ご要望、身近な出来事等は、おたよりコーナーで紹介しておりますが、匿名を希望される方はその旨をお書きください。

*当選は、記念品の発送をもって発表に代えさせていただきます。

◎先月号の答え

「サーフィン」



パズル? 頭の体操

□二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

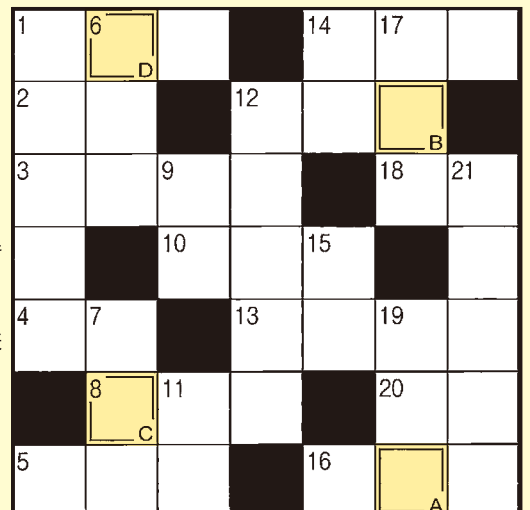
- | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|------|------------------|-----------|-------------|-----------|--------------|----|------------------|------------------|-----------------|-------------|-----|------------------|
| 21 | 19 | 17 | 15 | 14 | 12 | 11 | 9 | 7 | 6 | 1 | | | |
| 父と母のこと | いたもの | ピラフにホワイトソースをかけて焼 | 十五夜に楽しむもの | 汁物をよそう食器の1つ | 陽(よう)の反対語 | 「ギイ、チヨン」と鳴く虫 | つた | ——に敬老の日のプレゼントをもら | 陶磁器はこの中で焼き上げられます | 収穫期の田んぼで金色に輝きます | アンダー——の左腕投手 | しんだ | ポンペを担いで——ダイビングを楽 |

タテのカギ



ヨコのカギ

- 十五夜に飾る植物
- 帰り道のこと
- 葉はコアラの餌になります
- 2の3——は6
- 必要以上に子どもを甘やかすこと
- 羹(あつもの)に懲りて——を吹く
- 発車——の新幹線になんとか乗り込んだ
- 奈良や和歌山がある地域
- 漢字で書くと竜胆。青紫色の花を咲かせます。
- 台風——、よく晴れたね
- 吉永小百合さんの場合はサユリスト
- ml、mgの「m」
- お金を借りると付くことも



第26回 JAコスモス会グラウンドゴルフ大会開催について

- 主催 JAこばやしコスモス会
- 参加資格 コスモス会会員であること。ただし、次の方は認めます。
 - ①JAに受給金融機関変更の確約ができた方
 - ②新規受給者でJAでの受給申請手続き済みの方
- 開催日時 開催日 令和5年9月6日(水) 雨天時 9月11日(月)
- 及び会場 時間 集合：午前8時00分 開会：8時30分
場所 小林市 生駒高原多目的グラウンド
- 出場について 原則1チーム6名以内で構成する。
- 申込みについて 8月25日(金)までに各貯金窓口にてお申し込みください。



定例理事会

令和5年7月26日(水) JAこばやし 本所

- 1 令和5年度上期農業再生産緊急対策費の支出及び粗飼料増産飼料種子助成について
- 2 「自主検査要領」改廃権限の変更について
- 3 出資金の出資口数の減少および仮払いについて

以上3議案が、可決・決定及び承認されました。

給油所お盆営業時間について

8/13(日) 堤・北・高原・野尻
8時～17時まで

8/14(月) 全SS 8時～17時まで
8/15(火) ” ”

8月の行事予定 (8月10日～9月9日)

月	日	曜日	時間	行 事
8	16	水	8:30	子牛郡品評会
			8:30	農業用廃ポリ(小林・須木)～12:00迄
			8:30	農業用廃プラ・廃ビニール(高原)～12:00迄
			8:30	農業用廃ビニール(野尻)～12:00迄
8	18	金	13:30	JA繁殖センター初妊牛譲渡
8	22	火	9:15	子牛セリ市～24日迄
8	26	土	9:00	ふりそで紋付袴展示会～27日迄
8	29	火	9:30	成牛セリ市(妊娠牛)
8	30	水	8:30	農業用廃プラ・廃ビニール(高原)～12:00迄
9	5	火	8:30	子牛品評会(小林・高原・野尻・須木)
			8:30	農業用廃ポリ(小林・須木)～12:00迄
			8:00	乾牧草フェア(本所)～14:00迄
			9:30	成牛セリ市(妊娠牛・乳子牛・和牛ET)

令和5年度水稲無人ヘリ防除申込の3回目の締切は

8月15日(火)です。



○6月の訪問日に「令和5年度水稲無人ヘリ防除の申込書」の配布を致しました。

1回目(7月下旬～8月上旬)・2回目(8月中～下旬)の散布申込は終了しておりますが、3回目(9月上旬)の申込みについては継続して受付を行います。まだ、散布申込みを済ませていない方は、申込書の提出をお願い致します

※お問合せ先 JAこばやし 農産課 ☎23-3410
高原営農経済課 ☎42-5350
野尻営農経済課 ☎44-1002
須木支所 ☎48-2001

8月の訪問日配布文書

訪問日の主な配布文書は次のとおりです。
お申し込み忘れ等のないようお願いします。

【申込書関係】

- ◆9月～10月飼料予約申込書【畜産農家のみ】
- ◆乾牧草特別フェアについて【畜産農家のみ】
- ◆一般ふすまフェアについて【畜産農家のみ】

【お知らせ・チラシ等】

- ◆サマーキャンペーンのご案内【畜産農家のみ】
- ◆雪印 飼料種子販売終了のお知らせ【畜産農家のみ】
- ◆ゴウハラテレフォンショッピングチラシ
- ◆フジ医療器 きこえの相談会(須木のみ)
- ◆移動金融購買店舗車ふれあい号運行予定表【東支所・須木支所・高原支所(出口・後川内管内)のみ】